

横浜市内 放課後等デイサービス事業所 各位

横浜市こども青少年局障害児福祉保健課

## 放課後等デイサービスにかかる指標該当の再判定の対応について

放課後等デイサービスについては、平成 30 年 4 月から新たな報酬区分が導入されましたが、国の通知等を踏まえて、横浜市での「放課後等デイサービスに係る指標該当の再判定の対応」について、取り扱いを整理しましたのでお知らせします。

### 1 再判定が必要と想定される児童

- (1) 放課後等デイサービス事業者が、対象児童の「放課後等デイサービス利用児童 状況確認票」を保護者と面談等により確認の上作成した結果、指標該当となる点数である等の合理的な理由に基づき、保護者から再判定の求めがあった場合
- (2) 療育手帳 A 区分、精神障害者保健福祉手帳（1 級、2 級）の所持者又は、特別児童扶養手当受給者対象児童において、指標非該当となっている場合
- (3) 保護者が「放課後等デイサービス利用児童 状況確認票」の記載を誤って記入した場合  
例：「できない状況」「服薬が無い想定」など、記入の前提条件を誤認し、指標非該当となっているような場合

※(1)－(3)のいずれの場合も、「放課後等デイサービス利用児童 状況確認票」の合計点が「該当（13 点以上）」にならない場合は、再判定をしても「非該当」となります。

※障害の状態像の変更については、原則、再判定ではなく、変更申請とします。

### 2 再判定の流れ

- (1) 保護者から各区福祉保健センターに以下の書類を提出

- ①放課後等デイサービス指標再判定依頼書
- ②放課後等デイサービス利用児童 状況確認票（再判定用）

- (2) 区役所で再判定

注：複数事業所を利用して、事業所ごとに点数が異なる場合は、いずれかひとつの事業所の再判定をした結果が「該当」となれば、「該当」として取り扱います。

- (3) 受給者証を再交付

注：再判定後の受給者証については、発行日にさかのぼって、変更となります。

#### (4) 留意事項

- ・各放課後等デイサービス事業所において、再判定が必要と思われる児童が利用していて、再判定を事業所が希望する場合は、必ず事業所から保護者に状況や必要性等を十分に説明したうえで事業所と保護者が、「放課後等デイサービス状況確認票 再判定用」を作成の上、保護者から直接、各区福祉保健センターに提出するようにお願いします。

### 3 実施時期

即日

### 4 参 考

- ・横浜市では平成 30 年度は、手帳の等級を用いて指標該当児とする取り扱いにしています。
- ・受給者証の更新の都度、「放課後等デイサービス利用児童 状況確認票」等を保護者の方に記載いただき、それを各区で確認等することにより、区分判定をしています。
- ・放課後等デイサービス事業所の平成 31 年 4 月以降の報酬区分については、30 年 10 月 1 日から平成 31 年 3 月末までの 6 か月の延べ利用児童数の実績に基づいて報酬区分を適用することと、しています。(詳細については国から通知が発出され次第、ご連絡します。)

担当 横浜市こども青少年局障害児福祉保健課

電話 045-671-4278

FAX 045-663-2304

Mail : kd-syogaijifukuho@city.yokohama.jp